

団体名 八重瀬町立 新城小学校	連絡先 TEL: 098-998-2203 Eメール: aeh-vp@yaese-ed.jp
---------------------------	---

1 実践事項 (②「今年度の実践」-校内研修)

タイトル: 令和4・5年度 文部科学省指定「道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」

研究主題「聴いて・考えて・主体的に判断し、他者とよりよく生きようとする児童の育成」

～児童が協働的に対話し思考を深める授業を通して～

2 実践内容

(1学期) 研究主任の提案授業

新たに新城小学校に赴任した教諭も多かったため、前年度の研究や研究方針を具体的に共有できるよう、4月19日に研究主任による提案授業を行った。そのうえで、毎週火曜日を道徳の教材研究の日として学年や隣学年で指導主事より助言をいただきながら授業づくりに取り組み、6月、7月にも低学年、高学年の研究授業を行った。

(夏休み) 福井県福井市中藤小学校視察研

道徳科において先進的な取り組みをされている中藤小学校の授業を5名の職員が参観した。その後伝達講習を行い、2学期からの授業づくりの参考にした。

(2学期) 奈良県四天王寺大学教授 杉中浩平氏を招いた研究授業、研究発表大会

9月21日に本校の道徳科研究授業に杉中氏を招き指導助言をいただいた。また、11月24日の研究大会に向けて毎月、研究推進委員会と道徳研究全体会を実施し、大会運営の準備を進めた。研究発表大会当日は多くの先生方の授業を参観していただき、全体会では杉中氏の貴重な講演を拝聴でき、有意義な研究発表の場となった。

3 説明資料



教材研究・指導案検討



研究授業



研究協議会



全体会

4 成果

- ・学習形態の工夫（相互指名、役割演技、思考ツールの活用等）をすることで思考が深まった。
- ・教師が発問を精選することで対話の時間確保につながった。その積み重ねにより、道徳に限らず主体的に授業に取り組む児童が増えた。

5 課題

- ・道徳的価値に向かう教師のファシリテート力をさらに磨き、教材研究で想定したものに加え、児童の発言を生かした構造的な板書ができるようにする。